

アドセンスの利用方法&ルール

■目次

- 1.アドセンスについて詳しく知る
- 2.アドセンス無効化とは？
- 3.アドセンス停止の 10 の要因
- 4.アドセンス刈り
- 5.アドセンス取得
- 6.アドセンス再取得

1.アドセンスについて詳しく知る

アドセンスを知らないかもしれないので、
まずはアドセンスについて紹介していきます。

アドセンスはクリックされるごとに報酬が発生し、
トレンドサイトの場合は1クリックあたり 30 円～40 円
程度になります。

また、クリックされた時に貰える報酬額は一定ではなく、
広告のジャンルによって1クリック 100 円以上もあるし、
逆に 10 円行かないものもあります。

クレジットカードとかの広告はかなり高いですが、
それは自分の書いていく記事によって変わってくるので、
アドセンスのためにジャンルを意識する必要はないです。

あとは画像広告と文字広告を比べた場合、
文字広告の方が報酬が大きいと言われてています。
ただし、その分画像広告の方がクリック率は高いです。

- ・ 文字広告

[話題の洗顔石鹸どろあわわ](#)
www.kenkoucorp.com
モコモコ泡で毛穴汚れスッキリ！クチコミで大
人気のどろ豆乳石鹸



Ads by Google

- ・ 画像広告



2.アドセンス無効化とは？

平たく言えばアドセンスが使えなくなります。

今までアドセンスの広告が非常されていた
サイトから広告が消えてしまいますし、
当然報酬だって発生しません。

更にはそれまで稼いできた報酬に関しても
未払いのものに関しては全て無かったことにされます。

そしてトドメはアドセンス再取得の禁止で、
アドセンスが無効化されると今後2度とアドセンスを
再取得できなくなってしまいます。

つまり、無効化されてしまうことで、
それまでの収入も、これからの収入も全てを
失ってしまうことになるのです。

「でも、そんな簡単に無効化されないでしょう？」

もしそんな考えを持っているのであれば、
その考えは今すぐ捨ててしまってください。

グーグルはの名の知れた大企業ではありますが、
サポート体制の実態は下の下みたいなものです。

アドセンス無効化は決して珍しいことではないし、
真面目にサイトを運営している人にも
容赦なく襲い掛かります。

そして何よりも最悪なのがその後の対応で、
無効の理由を聞いても決して教えてくれないし、
むしろ異議申立てをしてもメールすら返ってこないです。

一度アドセンスの停止を食らってしまえば、
そこからの回復は絶望的と言えるでしょう。

3.アドセンス停止の 10 の要因

① 自己クリック

自分で1度でも広告をクリックすると
たったそれだけで広告停止になります。

間違っても自己クリックはしないようにしてください。

② クリック誘導（文章・画像等）

「クリックしてください」「こちらの広告は気になりますね」
広告に誘導しているような場合はアウトです。
同様に画像を使って誘導するのもアウトです。

③ コンテンツ不足

文字数だけではなく、コピペはもちろんのこと、
リライトくらいなら見破られて停止を喰らいます。
オリジナルコンテンツ不足でも警告が来ますね。

④ アドセンスタグの改変

勝手に広告のタグをいじってはいけないので、必ずそのままを使いましょう。

⑤ ポルノ、反社会的、特定の単語が含まれている

これが地味に厳しいです。

「AV」「アダルト」「麻薬」などなどの言葉に反応し、特定のページを掲載停止、または全て掲載停止になります。

グレーゾーンで勝負するとあとあと警告を受けた時に元凶の特定が難しくなってしまうので、危ない記事は最初から書かない方が良いでしょう。

⑥ 著作権コンテンツ

動画や画像など、著作権付きのものについては警告が来る恐れがあります。

特にジャニーズ系画像がうるさいですね。

⑦ 特殊な方法で広告表示

広告の色を変えたり隠し表示させたりするな、ということ。

⑧ アドセンス広告は1 ページに3 つまで。

意外とやってしまいがちなのがこれ。

アドセンスの広告は1 ページに3 つしか貼れないので、

4 つ以上広告を張っていると、

アドセンスから違反通知が来てしまいます。

しかも4 つ以上広告を張っても

4 つめ以降は表示されないだけで空白にしかありません。

そのため自分自身も広告を4 つ以上貼っていることに

気づかないことも多いので気を付けたいですね。

⑨掲載位置（コンテンツと広告の境界がわかりにくい）

文章のすぐ側に広告を置いたり。

タイトルバーと勘違いしそうな場所に広告を置いたり。

この無料レポートのマニュアルに書いてあるとおりに
広告を設置すればこれに違反することはありません。

⑩トラフィックエクスチェンジの利用

お金を払ってアクセスを呼ぶ手法。

これは普通にトレンドアフィリエイトを実践していれば
まず引っかかることは無いでしょう。

以上が、グーグルがアカウントを停止してくる

可能性の高い10個の要因です。

4.アドセンス刈り

アドセンス狩りとは他人のアドセンス広告を意図的に連続クリックすることで相手のアドセンスを使用できなくする方法です。

アドセンスはクリック型課金なので、サイト主が報酬ほしさに不正を働いていると思われ、結果アドセンスを無効化されてしまうのです。

明確な対策方法が存在しないため、アドセンスを利用する以上アドセンス刈りの恐怖はつきまとうと考えてください。

■アドセンス刈り対策その1

他のサイトで自分のアドセンス広告の表示を認めないように設定をしていきます。

アドセンスホーム画面の左側「アカウント設定」から「アクセスと認証」という部分に来ます。



The screenshot shows the 'アクセスと認証' (Access and Authentication) settings page. At the top, there is a section for '広告の表示を許可したサイト' (Sites where ads are allowed to be displayed) with a checked checkbox for '自分のアカウントで特定のサイトの広告表示のみを許可' (Allow ads only from specific sites on my account). Below this is the '許可サイト' (Allowed sites) section, which includes a text box for entering domains and a note: '許可していないサイトに広告コードを配置した場合、広告は許可サイトリストに追加したサイトは所有サイトリストにも自動的に追加されます。' (If an ad code is placed on a site not in the allowed list, the ad will also be displayed on the site if it is in the owned site list). Below the text box is the instruction 'ドメインを1行に1つずつ入力してください' (Please enter domains one by one on one line). At the bottom of the section are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. At the very bottom of the page, there are two links: 'サイト管理 新規 ② kekkon-kosai-renai.com 編集' and 'Google アナリティクスとの統合 ② リンクされているアカウント数(1) 編集'.

「許可サイト」の部分に自分のアドセンスを
利用しているサイトの URL を追加していきましょう。

この時気をつけることは、

ドメイン名の最初の「http://」を抜くこと。

もう1つは最後の「/」を抜くことです。

許可サイト

許可していないサイトに広告コードを配置したとき
許可サイトリストに追加したサイトは所有サイト

<http://naruhiko1111.com/>



許可サイト

許可していないサイトに広告コードを配置したとき
許可サイトリストに追加したサイトは所有サイト

naruhiko1111.com

■アドセンス刈り対策その2

アドセンスが無効化されてしまうと
その時点で取り返しがつかなくなるので、
それを事前に防ぐ必要があります。

具体的には広告のクリック率を常にチェックしておき、
クリック率が高くなった時はグーグルに
こちらから連絡を入れるということです。

無効化されてからでは対応してくれませんが、
事前に自己申告をしておくとうまく助かるケースが多いようです。

逆にそれをしないと助からない可能性が大きいので、
アドセンス広告のクリック率は
常にチェックしておく必要があります。

ページの CTR
0.65%
0.59%
0.27%
1.42%
0.76%
1.17%
1.50%

「ページの CTR」という部分が
広告のクリック率を示しており、
通常では良くて1%というところです。

なので2%とかに達している場合は
明らかに異常だと考えて良いので、
その場合はその旨をグーグルに伝えておきましょう。

最もアクセス数の少ないブログでは
日によってばらつきがあるのも事実なので、
最初のうちはクリック率は気にする必要も無いですけどね。

■アドセンス刈り対策その3

グーグルの高機能アクセス解析である
グーグルアナリティクスに登録しておく
万が一の時にも復活できる可能性が高いです。

また、グーグルウェブマスターツールという
ツールも利用しておいた方がより確実なので、
この2つを導入しておきましょう。

- ・グーグルウェブマスターツール

<http://naruhiko1111.com/1151.html>

- ・グーグルウェブアナリティクス

<http://naruhiko1111.com/994.html>

以上がアドセンス狩りを防ぐためにできる、
3つの対策となります！

5.アドセンス取得

アドセンスを初めて取得する場合は、
下の動画を参考に取得してみてください。

アドセンスには一次審査と二次審査があり、
一時はロボットの審査、二次は人間が審査をします。

ただ、いずれにしても審査自体は
そこまで難しいものであるとはいえないので、
普通に出来れば審査はすぐに通るでしょう。

ですが、人によっては手こずったりと
かなり時間がかかってしまうこともあるので、
アドセンスを取得していない人は早めに取得しましょう。

グーグルアカウント登録

http://naruhiko1111.com/wp-content/movie/google_accounts/google_accounts.html

グーグルアカウント登録ページ

https://www.google.com/adsense/v3/signup?sourceid=aso&subid=ww-ja-et-storefront_adsense_regionala&medium=et&hl=ja&utm_content=nsufv1

アドセンス登録動画

http://naruhiko1111.com/wp-content/movie/google_adsens/google_adsens.html

■アドセンス審査通過のポイント

・無料ブログを使う

ワードプレス等でアドセンスを申請すると

なぜか審査に落ちやすいようです。

ただし、FC2 ブログだけはやめておくべきですね。

・500 文字以上の記事を 5 記事書く

申請用ブログの記事は 500 文字以上、

かつ 5 記事以上投稿してあることが絶対条件です。

それに必ずしもこれで大丈夫とは言い切れないので、

審査に落ちた場合は更に記事を増やしてみましよう。

・記事の投稿日をずらしておく

無料ブログ開設後、いきなり 5 記事更新して、

そこから全く更新しないブログなんて

どう考えても不自然ですから。投稿日時をずらしましょう。

- ・ 記事の内容は日記的なもの

記事の内容については日記のようなものにしましょう。
トレンドサイトのような感じで記事を書いてしまうと、
なぜか審査に落とされやすいようです。

- ・ NGワードを含んでいないか？

グーグルアドセンスが定めている NG ワード
(アダルトとか反社会的なものとか)
が含まれていると審査に落ちます。

- ・ 画像、動画は使用しない

アドセンスの審査に受かるまでは、
ブログに画像や動画を使用するのは止めましょう。

■アドセンス審査に落ちた場合は？

基本的にアドセンス審査に落ちる理由は、

- ・コンテンツ不足
- ・NGワード

このどちらかと考えて良いでしょう。

記事を増やしても、思い当たるNGワードを
全て削除しても審査に通らない場合、
その場合はブログを作りなおした方が早いです。

5記事で審査に通ることを考えれば、
わからないことをいつまでも考えるよりも、
ササッと記事を書きなおした方が早いですからね。

6.アドセンス再取得

アドセンスを利用して、
そして無効化されてしまった場合。

通常、グーグルは再取得を認めません。

しかしそれでもアドセンスを利用したい場合は、
ちょっとグレーな感じの方法で再取得します。

具体的には、

- ・ 申込者の名前を変える
- ・ 申込者の住所を変える
- ・ 申込者の口座を変える
- ・ 申込時の IP を変える
- ・ 以前までアドセンスサイトに再びアドセンスを張らない

これで申請が通ります。

- ・ 申込者の名前を借りる

自分の名義のアカウントが無効化されたなら、
家族、親戚、友人に名前を借りる。

- ・ 申込者の口座を変える

無効化時に利用していた口座以外の口座を使う。
ただし、口座名義は申込者の名前と同じである必要がある。

- ・ 申込者の住所を変える

無効化時に使っていた住所から引っ越せば可能。
もしくは「私書箱」というものを使うことにより、
引越しをしなくても再申請が可能になる。

ちなみに私書箱の利用には月額でお金がかかるが、
審査に受かったからと言ってすぐに
利用停止してはいけません。

アドセンスの収入が始めて 3000 円を超えた時、
グーグルからこんな感じの手紙が来るので、
私書箱を利用停止するとこれが受け取れなくなります。



私書箱はこちらのマイレタードットジェーピー
というサイトを利用すれば OK です。

<http://www.myletter.jp/>

- ・ 申込時の IP を変える

IP アドレスを変更するということ。

これに関しては、どこか適当な満喫に行って、
そこでアドセンスの申請を行えば問題ない。

- ・ 以前までアドセンスサイトに再びアドセンスを張らない

アドセンスを再取得したらそれまでアドセンスを
利用していたサイトに広告を貼りたくなると思いますが、
そのサイトにはもうアドセンスを貼ってはいけません。

過去に利用していたサイトに再びアドセンスを貼ることで、
今のアカウントと過去の無効アカウントが紐付けられて、
最悪アカウント停止を再び受ける可能性もあります。

なので、前回無効化された時にアドセンスを利用していた
サイトに関しては、再取得したアカウントのアドセンス
広告を貼ってはいけません。